

(参考様式4)

事業所名 グループホーム親の家

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	17	より良く過ごして頂くために、個々の思いやケアのあり方に意見を交え、支援に繋げようとするも難しい場合がある。	個々の思いに寄り添い、家族様からの意見などを反映し、穏やかに過ごして頂ける環境作り。	家人様からの意見や、ご本人の思いをくみ取り、職員間での情報共有に伴いチームとして支援に繋げる。	12ヶ月
2	34	個々の健康状態にて処方されている薬や臨時薬の処方など、確実に把握する。	職員が個々の服薬状況を確認し、現状の把握や身体状況の確認を徹底する。	服薬のダブルチェックや臨時薬の確認、服薬困難な方に対する服薬方法等、職員間での完全周知に取り組む。	12ヶ月
3	47	感染症の懸念もあるが、外出支援を少しずつ増やす。	季節行事や地域行事等、身体状況を見ながら積極的に参加する。	体調に合わせて外出の機会を作り、家人様にも声かけをし、入居者様が喜んで頂ける支援に取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。